

令和7年度「育ちと学びをつなぐ」 幼保小協働推進事業報告



安芸高田市
令和8年2月4日（水）

安芸高田市では、美土里小学校区を拠点地域として 幼保小連携・接続の取組を推進

○安芸高田市幼保小連携研修会（年3回）実施

- ・ 第1回…令和7年 8月20日

みどりの森保育所の保育参観をもとに研修

- ・ 第2回…令和7年12月 8日

美土里小学校第1学年の授業参観をもとに研修

- ・ 第3回…令和8年 1月30日

美土里小学校区の実践発表

接続カリキュラムの改善・作成



安芸高田市幼保小連携研修会（第1回・第2回）

<子どもの思いや願いを大切にする 保育士・教師のかかわりとして>

- ・しっとりとした保育をする。
- ・子どもたちのテンションが上がりすぎないようにする。
- ・大人の言葉数を減らす、しゃべりすぎない、動きすぎない。
- ・保育士は子どもたちが戻ってくる場所になるようにする。
- ・保育園での活動は様々、子どもたちは五感で楽しんでいるから、子どもたちが何に喜んでいるかを見取ろう。
- ・振り返りは活動が楽しくないと振り返ることができない。
- ・人と人との間でやり取りをするのが言葉。言葉を届けよう。
- ・友達が一生懸命聞いてくれると言葉があふれてくる。
そんな関係をつくろう。

等



各小学校区等において

- 保育園と小学校でめざす子ども像の丁寧な連携
- 年度初めの年間計画立案をブラッシュアップ
- 就学に係る連携
- 子ども同士の交流会の実施
- 子ども司書が保育園へ読み聞かせ訪問
- 総合的な学習の時間での「一人一探究」で、児童が保育所を訪問
- 夏休みに保育の様子（子ども・環境など）を小学校の全教職員で参観する 等
- 市初任者研修で、「ミドルリーダーのための園・所から学ぶ
「遊びは学び」研修受講者による示範授業の実施

各小学校区の
実態に応じて実施



安芸高田市立美土里小学校区の取組



令和7年度

子どもの様子

○みどりの森保育所（年長児：ぞう組）

- ・年長になった喜びを感じ、活動に対する意欲をもっている。
- ・友だちや指導者の様子を見て動くことがある。

○美土里小学校（1年生）

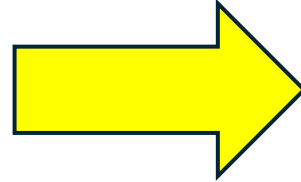
- ・前向きにいろいろな活動にチャレンジしようとする。
- ・お互いの思いを聴き合おうとする。
- ・全体の発表の場面など、自信がない様子がある。

令和7年度

取組の重点

育てたい子ども像

- 夢中になって
かかわる
- 思いを
のびのび伝える
- 思いを受け止める



主体性を引き出す環境構成や支援

- ★自分で選んで
試行錯誤する場
- ★思いを伝え合う場
- ★つながる場

安心

チーム
で

一人一人の
子どもに

心を寄せて聴く 思いを受け止める 待つ すてき（良いところ、成長）を見つける

令和7年度

取り組んでいること

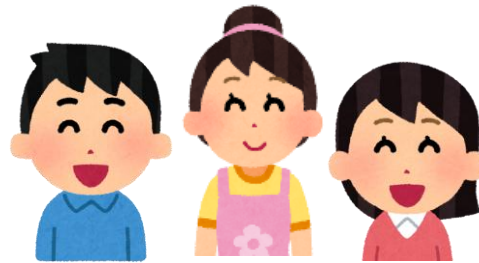
1 育てたい子どもの姿の共有



2 重点を意識した保育・教育の実践と振り返り



3 交流活動の充実



4 カリキュラムの改善



【資料1】 安芸高田市立美土里小学校 スタートカリキュラム計画

全ての子どもが主役の学校

学校教育目標 自ら考え表現し 学び合う児童の育成 ○自ら考え表現する子ども ○違いを受け入れ 協力し合う子ども

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
育てほしい児童の姿	<p>入学当初の児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校での学習に興味を持ち、早く学習したいと思っている。 ○小学校生活への期待感をもちながら、時間を意識して動くとしている。 ○自分の気持ちを伝えたい思いはあるが、言葉で表現することはまだ難しいところがある。 ○人の話をじっくり聴こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に徐々に慣れ、登校を楽しみにしたり、学校生活を楽しんだりしている。 ・学校生活に必要な約束やルールを知り、身の回りのことを自分でやろうとする。 ・自分から元気よく挨拶をする。 ・聞かせる声で自分の思いや考えを話そうとする。 ・話を聞く時は、黙って体を向けて聴こうとする。 ・読み書きを楽しんで聴くことができる。 ・1週間に1回本を借りる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から友達との関わりをもととする。 ・学校生活のリズムをつかみ、約束やルールを守ろうとする。 ・自分の思いや考えを分かりやすく話そうとする。 ・最後まで黙って聴こうとしている。 ・自分で読みたい本を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できることが増え、学習活動に喜びを次の活動への意欲を高めている。 ・約束やルールを守って規則正しく生活し、自分の思いを自分なりの言葉で伝え合ったり、聴き合ったりしてペア学習を楽しんだり、相手の思いに気付いたり、よさを見つめ褒めたりを認めたりする。 ・自分の読みたい本を見つけ、読むこと 					
	○安心して すごせよ	○友だち だいすき	○やってみたいな	○できることか					

★子どもの思いを聞き 受け止める ★関わり感や大切さを 聴き取り 学び合う【初め学習】 ★子どもの思いや考えを言葉で表現させる ★まねがたい行動・発言

実践①

■自分で選ぶ 試行錯誤する環境を整える

【みどりの森保育所 ぞう組】
「なつやさいをそだてよう」

- 子どもの思いや
 願いを大事にする
- まずやってみる
- 失敗などから考え
 られるようにする

さあ、どうする？

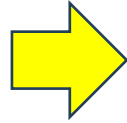
はたけがカラスに
あらされている！



実践①

■自分で選ぶ 試行錯誤する環境を整える

【みどりの森保育所 ぞう組】
「なつやさいをそだてよう」



さあ、どうする？

かかしが
カラスに
やられた！！



実践②

- 自分で選ぶ 試行錯誤する環境を整える
- 思いをのびのび伝える
- 思いを受け止める

【みどりの森保育所 ぞうぐみ 美土里小学校 1年生】「みどりんこうりゅうかいをしよう」

【事前打ち合わせ】

- 活動のねらいと目指す姿
- 支援と役割分担
- 子ども一人一人のことを話す
(目指したいところ、配慮が
必要なところ)

【事後振り返り】

- 活動のねらいと目指す姿
- 支援と役割分担
- 子ども一人一人のことを話す
(良さや成長)
- 次回に向けて

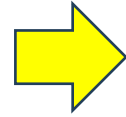
実践②

- 自分で選ぶ 試行錯誤する環境を整える
- 思いをのびのび伝える
- 思いを受け止める

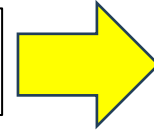
【みどりの森保育所 ぞうぐみ 美土里小学校 1年生】「みどりんこうりゅうかいをしよう」

【美土里小 1年生】

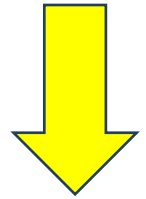
秋見つけ



つくろう あそぼう①



つくろう あそぼう
②あきのものでおもちやづくり



ぞう組さんとあきのおもちやであそぼう(みどりんこうりゅうかい)

- ストーリーを大事にする
- ぞう組さんが思いを伝えやすいように、グループでの振り返りをいれる
- ぞう組さん主体の活動も入れる



実践②

- 自分で選ぶ 試行錯誤する環境を整える
- 思いをのびのび伝える
- 思いを受け止める

【美土里小 1年生】

つくろう あそぼう② あきのものでおもちゃづくり

- ・ 経験を話す
- ・ 自由に選べる材料、道具
- ・ 繰り返し試すことができる時間
- ・ ペアで相談
- ・ 全体で相談タイム

【けん玉チーム】



【やじろべえ、こま、がっきチーム】



【まとあてチーム】



実践②

- 自分で選ぶ 試行錯誤する環境を整える
- 思いをのびのび伝える
- 思いを受け止める

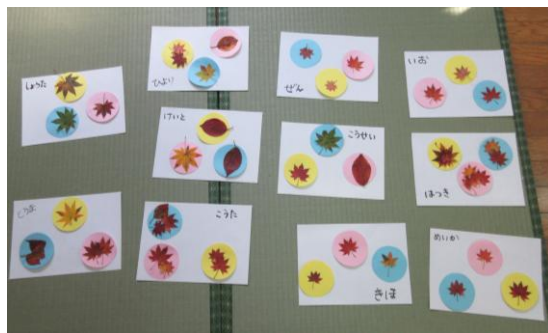
【みどりの森保育所 ぞうぐみ 美土里小学校 1年生】「みどりんこうりゅうかいをしよう」



【けん玉チーム】



【まとあてチーム】



【やじろべえ、こま、がっきチーム】

【ぞう組さん お手製のチケット】

実践②

- 自分で選ぶ 試行錯誤する環境を整える
- 思いをのびのび伝える
- 思いを受け止める

【みどりの森保育所 ぞうぐみ 美土里小学校 1年生】「みどりんこうりゅうかいをしよう」



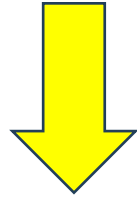
【クッキーやさん】

【カップケーキやさん】

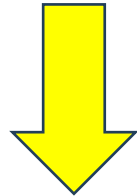
【アイスクリームやさん】

取り組んで良かったこと

環境づくり まかせて見守る 気づきを広げる声かけ



子どもの試行錯誤 思いが広がり深まる 一緒に考える



- 夢中になってかかわる
- 思いをのびのび伝える
- 思いを受け止める

- ・自信
- ・失敗を恐れない
- ・できないことにも挑戦する
- ・自己肯定感アップ

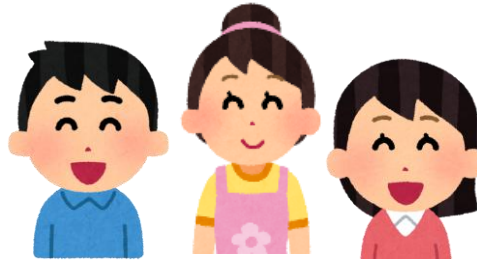
取り組んで良かったこと

【職員の振り返りから】

職員間で話し合い、子どもに寄り添い、気持ちを大切にしている保育に変わってきていると思う。

子どもの言葉をよく聴き、自主性を大切にすることで、一人一人を大切にしたい保育ができると思う。

カリキュラムの見直しをするなかで、子どもがよく見えてきた。0歳からのつながりを大切にしたい。



子どもの可能性は、無限大。先回りしすぎて、成長の芽をつまないようにしたい。

発達段階による違いや共通しているところを理解することができた。何を目指すか考えられた。

園でも小学校でも、選んだり試行錯誤したりする場が大切。子ども主体の意味、原点に帰って考えられた。

取組を通して

○PDCAサイクル

○保育士・教師の意識の変容
⇒子どもの姿の変容

○保育所と小学校のスムーズな連携



来年度に向けて

○各小学校区の実態に応じた取組を推進

接続カリキュラムの一層の充実

